

## ねんりんピック富山2018

全国の60歳以上の男女約1万人が、スポーツや文化で交流を深める「第31回全国健康福祉祭とやま大会」が11月3日から3日間開催され、富山県内15市町村の会場で過去最多の27種目が一斉に実施されました。

将棋交流大会は、小矢部市クロスランドおやべメインホール・セレナホールで、64チーム191名が参加して開催されました。

審判長には中村修九段、副審判長には杉本昌隆七段、村田顕弘六段、室田伊緒女流二段の合計4名のプロ棋士が来場、席上対局や指導対局にあたりました。

特別表彰の最高齢者賞は、新潟市から参加された林稔さん91歳が受賞、高齢者賞には千葉市から参加された金子逸男さん86歳ら3名でした。

さて名古屋市チーム（坂本立秋さん・栗田平男さん・多岐秀樹さん）の成績は、団体予選リーグを真坂の全員全敗で予選落ちを喫しました。

翌日は気持ちを切り替え3人とも個人戦に臨み、坂本さんは1回戦を突破するも2回戦で惜しくも敗れ銅メダルを逃がしました。他の2人は持ち時間いっぱい頑張るも日頃の練習成果を出し切れず1回戦で苦敗しました。

### （参考）近隣3県の成績

愛知県：団体戦予選通過するも、決勝トーナメント1回戦で敗退する。

岐阜県：団体戦予選通過するも、決勝トーナメント1回戦で敗れる。

三重県：団体戦予選落ち、個人戦では3人とも善戦するも全員苦杯する。

名古屋市付添役員 山中利夫

<宿泊先から会場へ移動の前に>



<団体予選開始直前の表情>

